



取材を終えて

Good Practice

01

河村 明里さん 榎原 歩さん

利益だけを追求せず、未来や環境に配慮した取組を、周りの人々を巻き込み、社会全体で行っていくことの重要性を感じました。また、SDGsに貢献している企業の取組や想いを直に感じて、既成概念を取り払って可能思考で行動することの大切さを学びました。この事業での学びを生かし、私たち自身も消費者として、SDGsに貢献している企業の後押しができる行動を、家族や友人など周囲に広げていきながら積極的に行っていきたいと思えます。

取材先：株式会社丸繁製菓(碧南市)

Good Practice

02

野々山 真帆さん 横井 佐奈さん

取材を通して、利益よりも未来の環境や人の幸せのために動きだしている渥美フーズさんは本当にかっこいいと思いました。SDGsと聞くとどうしても大それたもののように感じて、自分から遠ざけてしまう気持ちもとてもよくわかります。でも広範囲な目標内容を持つSDGsはその分私たちの暮らしの至る所にあります。だからこそ、「今日はマイボトルを持っていこうかな」「エコバックをいつも鞆に入れておこう」といった私たちの本当に些細な意識の変化がその達成の貢献に繋がると思えます。

取材先：株式会社渥美フーズ(田原市)

Good Practice

03

加藤 絵磨さん 原田 莉緒さん 渡邊 明日香さん

取材を通して感じたことは、建設業に対するイメージが一新しました。本来の仕事ではないことを行い、かつ課題を発見して新たな価値を創造していく、そして地球が幸せになっていくという仕事に、明るい未来を感じ取ることができました。同世代の学生に伝えたいことは、企業が行っていることを深く知ることが大事だということです。今回のインタビューがなければ、建設業界のイメージが大きく違ったと思います。そのため、記事を読んだ方にも建築業界のイメージが変わっていただけたらいいなと思いました。

取材先：株式会社加藤建設(蟹江町)

Good Practice

04

上 友香さん 野村 和花さん

SDGsに取り組む企業の方々には環境問題に取り組む際、愛知の、そして日本のこれからの見据えています。私たち若者世代にもそれらの問題が他人事ではなく自分事として捉えて欲しいと願っています。ゴミの分別などの小さなことからでも私たちができることを少しずつ積み重ねていけば大きな成果となります。この事業の取組により、行動を変えてみようと思ってくれる人が1人でも多くなってくれたら幸いです。言葉に見合った行動を今起こすべきです。

取材先：加山興業株式会社(豊川市)

Good Practice

05

鈴木 萌々音さん M. Rさん

取材を通して、工夫次第でゴミがお金になったという事例を知り、SDGsを意識した取組をすることで企業と環境どちらにとっても良い方向へと変化するのだと感じました。また、SDGsによって社内のコミュニケーションが活発になったというのも面白いと思いました。SDGsに取り組むことは、多方面において良い影響を与えると学び、私たちもさらに積極的に行動していきたいと思いました。

取材先：株式会社タケヒコ(安城市)

Good Practice

06

補陀 凜香さん 眞名子 佳穂さん

今回の取材を通じて企業のSDGsに対する思いや事業内容の大きさに刺激を受けました。その中で、持続可能な社会のためにできることは、1つや2つではなく、取り組み方は多様であって、どんなに小さなことでも行動を起こすことが重要であることを学びました。しかし、持続可能な社会を実際に実現するためには、より多くの人の協働が求められます。だからこそ、私たち自身が今回学んだあらゆる知識を周りの友人、家族等の身近な人に共有し、少しでも大きな繋がりに貢献したいと思いました。

取材先：株式会社岩田レーベル(一宮市)

Good Practice

07

佐藤 雅子さん 永戸 志弥さん

「SDGsが流行っているからやろう」という表面的な取り組み方ではなく、カゴメさんのように、「自分たちが大切にしていることがSDGsの理念に合致する」という企業が増えたらいいと思いました。また、社会に役立つ様々な活動を、会社をあげて社員全員で楽しみながら取り組もうとする気持ちが、活動を継続させたり成功させたりするための原動力となるのだと実感しました。そういった活動の土台にあるのは、自分たちの仲間(=社員)を大切にし、一人一人が安心して働くことができる職場を作ることなのだろうと思えます。

取材先：カゴメ株式会社(名古屋市)

Good Practice

08

植田 愛理さん 川崎 南奈さん 小堀 佳乃さん

SDGs採択前から社会貢献を意識していた企業が多くあることを知り、現在の事業を様々な視点から見つめ直すことで、さらに進めるべき取組や改善点が見つかることを感じました。さらに社外だけでなく、社内に対するアプローチも意識することで、全社的に社会貢献への意識を高められることを感じました。学生や一般の方にも自分自身の生活を多角的な視点で見つめ直し、SDGsの貢献の仕方を工夫していくことで、豊かな生活に繋げてほしいです。そして一人一人の社会貢献を通して、持続可能な社会を実現していければと思います。

取材先：株式会社メニコン(名古屋市)